

当院職員における新型コロナウイルス陽性者の報告について（第1報）

令和4年5月18日(水曜日)、当院病棟職員1名が、新型コロナウイルスPCR検査で陽性と判明致しました。当該職員は本年1月に3回目のワクチン接種も受けておりましたが、出勤時には発熱等もなかったものの勤務終了後に咽頭痛が出現したため、翌日の出勤は停止し検査を実施していたものです。保健所にご報告の上で対応を開始しております。

日頃より、患者さんやご家族の皆様にも多大なるご協力をいただき、職員一同、感染防止対策に最大限の注意を行っておりましたが、この度は、入院中の皆様及びご家族の皆様、また、関係者の皆様に多大なるご心配とご迷惑をおかけすることとなり誠に申し訳ございません。

引続き、関係の方々へのPCR検査と健康観察をすすめ、可能な限りの対応をさせていただきたいと考えておりますので、ご理解とご協力のほど、よろしくお願い申し上げます。

なお、当該職員につきましては、外来部門への関与は無いため、外来診療につきましては、普段どおり継続致します。

福山市医師会を通じた保健所からの情報提供によると、広島県内でも4月下旬より流行中の株が、以前のオミクロン株「BA.1」から「BA.2」に置き換わっているとのことです。BA.2の感染力はBA.1より更に20～50%ほど高くなっていると言われ、今後の流行拡大が強く懸念されます。職員の同居家族の関係先（特に学校やこども園等）での陽性者の報告も多発する状況が続いており、業務の継続に懸念を覚える状況が続いておりますが、詳細な情報を可能な限り収集して、「より安全」な職員が誰かを検討する等、リスク低減のための努力を続けております。今後も職員一同、感染防止に努めて参りますので、ご理解とご協力の程よろしくお願い申し上げます。

医療法人 東和会
小林病院
理事長 小林芳人
院長 原 忠之